

スキーで楽しむ！白銀の世界

2月17・18日、長野県木島平スキー場で、「小学生スキー教室」が行われました。
教室には市内の小学生4～6年生69人が参加。レベル別のグループに分かれて、板の付け方やボーゲンでの滑走

法などを学びました。
初心者だった児童たちも、滑りが上達するにつれ、自然と笑顔があふれ、袋井では味わえない白銀の世界を楽しんでいました。



地面を感じて走る”足袋マラソン”

2月16日、浅羽西公民館で、浅羽西幼稚園の園児が「足袋マラソン大会」を行いました。

日ごろから、足袋で過ごしている園児たちは、スタート前に留め金などを

確認。学年ごとに600m、800m、1,000mを走りました。
走り終わった73人の園児には、特製の手作りメダルが渡され、満足げな表情でした。



わたしたちが考える「まちづくり」

2月27日、袋井東小学校で6年生が「まちづくり発表会」を行いました。児童たちは、「環境」「ふれあい」「にぎわい」などのテーマごとにグループに分かれ、よりよい袋井にするにはど

うすればよいか」を学んできました。発表会には原田市長も出席。児童たちが考えるまちづくりの発表を熱心に聞き入っていました。



今すぐできる家具固定

地域防災指導員が中心となって、防災について考える「災害の映像を見る会」が開かれています。新潟県中越地震の映像などを見たり、地震による家具の倒れ方や倒れやすい家具の特徴などの説明を受けたりしました。参加した皆さんは、住宅の耐震化や家具の固定、日ごろの備えの重要性などを再認識していました。

「災害の映像を見る会」の開催については、防災課（☎443108）までお問い合わせください。



救護所設置を図上で訓練

2月15日、袋井保健センターで東海地震に備えた救護所の図上訓練が行われました。

この日の訓練には、医師や歯科医師、薬剤師、消防士など約50人が参加。昨

年までのトリアージ訓練や医療救護に関する勉強会に続き、今年も、日中に東海地震が起こった場合、限られた人数でどのように救護所を設立・運営していくかなどを話し合いました。

